

水無月 MINAZUKI

6月



田んぼに水を入れる季節であることから、「水の月」と呼ばれたのが由来とされています。

2026



6月14日 ハコネウツギ

移り気・秘密・夢心地

日本固有の落葉性低木です。開花時期は5~6月で、桜と入れ替わるように咲き始めます。咲き始めの頃は白く、咲き進むに従ってピンク色に染まります。そして最後は紅色になります。この性質により、それぞれの枝毎に花の色が異るといった、鮮やかなグラデーションを楽しむことができます。

6月21日 ヤマモモ 一途・教訓

本州中部から台湾、中国、フィリピンにかけて分布し、海岸部に近い温暖な山地に生育している常緑の高木です。花は3~4月にかけて咲き、果実は球形で暗赤色に熟します。果実の表面は小突起が密生し特有の香りと風味があり、自生地では初夏の果物の一つとして親しまれています。



6月3日 クチナシ

喜びを運ぶ・優雅・洗練

初夏に涼しげな白い花を咲かせるクチナシは、春のジンチヨウゲ、秋のキンモクセイとともに、香りを楽しむ花木の代表です。やや重めの甘い香りは、夏が近いことを教えてくれます。和名の由来には諸説ありますが、熟しても裂開しない果実の様子を「口無し」と呼んだことからとも言われています。



6月の誕生日の木

都道府県の花 ⑥

岐阜【レンゲソウ】



春の始まりと共に、ピンク色の可憐なレンゲ草が一面に広がります。古くから水田の緑肥として栽培されてきました。現在でも緑肥や蜂蜜の重要な蜜源植物として利用されています。

静岡

【ツツジ】



県内全域で4月中旬～5月に見頃を迎え、特に伊東市の小室山公園（約10万本）や熱海市の姫の沢公園が名所です。県特産のアシタカツツジやヤマツツジなど多くの種類が自生・植栽されています。

三重

【ハナショウブ】



桑名市の九華公園や亀山市の亀山公園などで、観賞することができます。また、野生の花菖蒲が群生している場所もあり、白や紫など色とりどりの花色を楽しむことができます。

愛知【カキツバタ】



刈谷市の最北部にある小堤西池は、日本三大カキツバタ自生地の一つです。花の見頃は5月中旬で、緑一面の湿地に清楚な青紫色の花を咲かせます。

6月16日で、「世界ウミガメの日 (World Sea Turtle Day)」



ウミガメの保護を呼びかけ、その大切さを広める日です。
ウミガメ研究の父、アーサー・カー博士の誕生日に由来し、
絶滅の危機にあるウミガメについて考える日とされています。
そこで今回は、亀が付く植物を集めてみました！

亀甲竜(きっこうりゅう)

南アフリカの乾燥地帯に自生する多肉植物。日本にも愛好が多く、古くから栽培されてきた人気植物です。



緑亀の卵

(みどりがめのたまご)

ベンケイソウ科セダム属。ぷっくりとした緑色の卵形の緑の葉が特徴的な多肉植物です。

大亀の木(おおかめのき)

ガズミの仲間です。葉の形をカメの甲羅に見立てたことからこの名がつけました。



亀甲竹(きっこうちく)

孟宗竹の変種が固定化した竹で、節間の盛り上がり方が亀の甲羅のように見えることから亀甲竹と呼ばれています。

